設定ガイド

LinkStation Cloud Edition™
CS-X、CS-WV

第2.93版

BUFFALO LinkStation Cloud Edition (以下 Cloud Edition と記載します) をお買い上げいただきありがとうございます。本製品を使用することで、パーソナルクラウドサービスを手軽に利用でき、大切なデータを外部のサーバーに預ける不安も解消されます。Pogoplug アプリケーションを使用すれば、お手持ちのスマートフォンからいつでもどこでもインターネット経由で Cloud Edition に保存したファイルや写真などのメディアファイルを利用できます。

製品をより快適にお使い頂くために、本製品はソフトウェアのアップデートを行います。最新のソフトウェアや設定ガイドは http://buffalo.jp よりダウンロードできます。 Cloud Editionの詳細については、http://buffalo.jp/pr/linkstation-cloud/ をご覧ください。

前面（CS-WV）

前面カバー
（カバー左側を手前に引くと取り外せます）
POWER
FUNCTION
INFO/ERROR
電源ランプ
ファンクションランプ
INFO/ERRORランプ
BUFFALO
LinkStation

前面カバーを取り外した状態（CS-WV）

背面（CS-WV）

ファンクションボタン
USBコネクター
電源スイッチ
・AUTO
・ON
・OFF
LANポート
（ルーターへ）
電源コネクター
ファン
盗難防止用ワイヤーホール
電源コード用フック

PC連動電源機能について（CS-WV）

電源
スイッチ

「電源スイッチ」は本機背面にあり、[AUTO]、[ON]、[OFF] を切り替えることができます。[AUTO]にすると、PC と連動して電源が自動でオン / オフします。PC の電源がオンになると Cloud Edition が起動し、PC の電源がオフになると Cloud Edition が停止します。

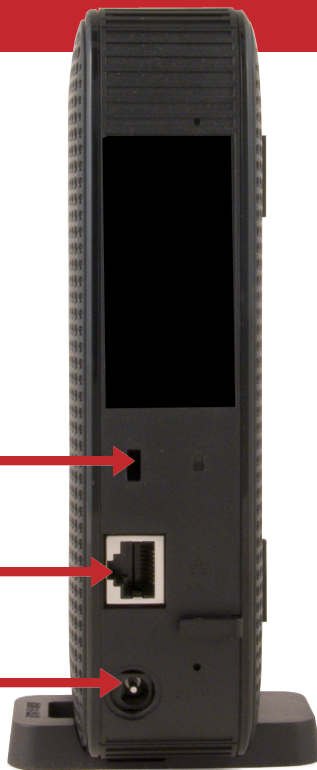
この連動機能を利用するには PC に「NAS Navigator」ソフトウェア（http://buffalo.jp より入手可）をインストールする必要があります。インストールされていない状態で、電源スイッチを [AUTO] にした場合、本機が突然停止する事があります。

[ON] にすると、本機の電源が入ります。

本機の電源を切るには電源スイッチを [OFF] にします。完全に停止するまでに数分かかります。完全に停止して電源ランプが消えるまで電源ケーブルを抜かないでください。

電源ランプ

背面（CS-X）

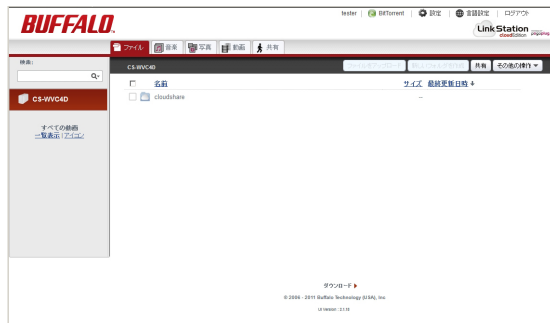
ログイン

Web ブラウザーで https://linkstationcloud.pogoplug.com を表示します。 セットアップ時に登録した E メールアドレスとパスワードを入力して、ログインボタンをクリックします。

アップロード

1. アップロード先のドライブとフォルダーを選択します。はじめて本機を使用する場合は、[cloudshare] をクリックします。

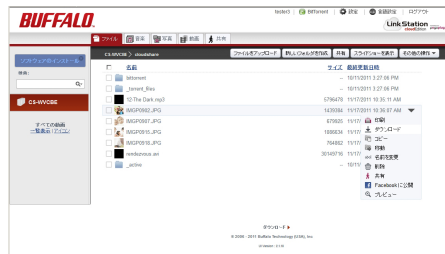
2. ページ上部の灰色のツールバーにある［ファイルをアップロード］をクリックします。

3. ファイルアップロード用のダイアログボックスが表示されたら、［ファイルを追加］をクリックしてアップロードするファイルを選択します。

4. ［アップロード］をクリックします。

ダウンロード

ダウンロードするフォルダーまたはファイルの場所を開き、フォルダー / ファイルの上にマウスポインターをあてます。

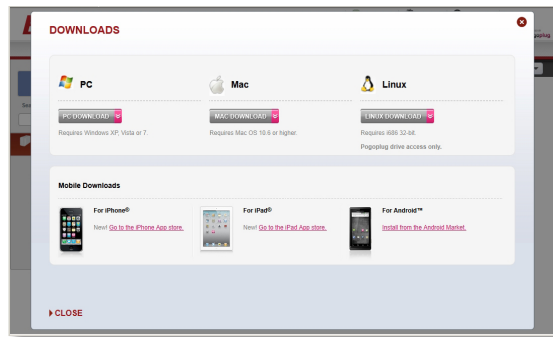
フォルダー / ファイルの上にマウスポインターを重ねると [▼] が表示されます。 [▼] をクリックして［ダウンロード］を選択します。

フォルダー / ファイルは Web ブラウザーの環境設定で指定された場所に保存されます。フォルダー全体をダウンロードする場合、自動で ZIP 形式ファイルに圧縮されます。

Pogoplug アプリ

ソフトウェア「Pogoplug Drive」を使用すると PC 上で本機が直接つながれたドライブのように見えます。他の Pogoplug ユーザーと共有しているフォルダーは [私と共有しているファイル] からアクセスできます。ローカルネットワークの中でも外からでも利用できます。

iPhone、iPad、Android 用ソフトウェア「Pogoplug Mobile」を使用することで、スマートフォンからいつでもどこでもアクセスできます。

Pogoplug アプリは http://buffalo.jp/pr/linkstation-cloud/download/ よりダウンロードするか、LinkStation Cloud Edition のファイル操作ページの左上にある［ソフトウェアのインストール］ボタンをクリックしてください。

注記：Pogoplug アプリはクライアント (PC など) 上で動作し、Cloud Edition のハードディスクはクライアントに物理的に接続されていません。そのため、Cloud Edition のハードディスクのメンテナンスに対応していない等、ソフトウェアの動作に一部制限があります。

共有

本機を使うと家族や友達とフォルダーやファイルを簡単に共有できます。

フォルダー / ファイルの共有方法

1. フォルダーやファイルの右側にある [▼] をクリックして［共有］を選択します。

2. ［宛先］の下にあるテキストボックスにフォルダー / ファイルを共有する相手の E メールアドレスを入力します。複数の人と共有する場合は E メールアドレスをカンマまたはセミコロンで区切ります。

3. 入力した E メールアドレスは今後の入力が簡単になるようアドレス帳に保存されます。

4. メッセージを一緒に送りたい場合は、[メッセージ] テキストボックスに入力します。

5. Facebook にログインしている場合、宛先名の隣にあるチェックボックスをオンにすると相手のウォールにメッセージを書き込めます。

6. ［終了］をクリックします。

7. リンクが記載された E メールが共有相手に送信されます。

注記：共有相手が Cloud Edition のアカウントを作成していない場合、リンクの

有効期限は 2 週間です。共有リストから相手を一旦削除して追加しなおすと、2 週間の有効期限で新たにリンクが生成され、E メールで送信されます。

ドライブ、フォルダー、ファイルの共有解除

1.［リスト表示］モードで、ドライブやフォルダー、ファイルの右側にある矢印をクリックします。[アイコン] モードでは、アイコンの上にマウスカーソルを重ねて [▼] をクリックします。

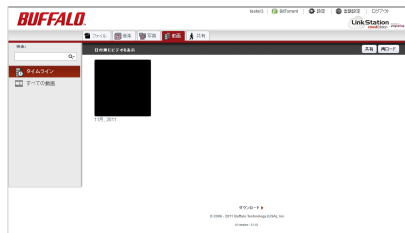
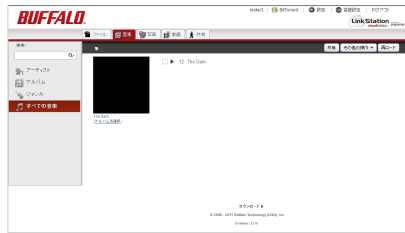
2. [この共有を停止] を選択します。

検索

音楽、写真、動画は、それぞれの検索カテゴリー [音楽]、[写真]、[動画] で分けて表示できます。カテゴリーをクリックすると、そのカテゴリーのファイルが表示されます。

それぞれのカテゴリーで、表示オプションが左側に表示されます。

［音楽］カテゴリーでは音楽をアーティスト、アルバム、ジャンル別に表示できます。
［写真］カテゴリーでは写真を日付順に表示したり、スライドショーを作成したりできます。［動画］カテゴリーではビデオを日付順に表示できます。

ファイルを検索するには、［検索］ボックスにファイル名を入力してそのすぐ右のアイコンをクリックします。

スライドショー

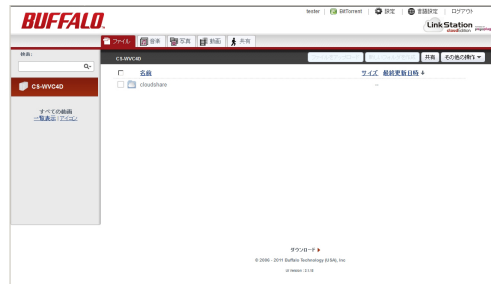
好きな写真、ビデオ、音楽を使ってスライドショーを作成できます。

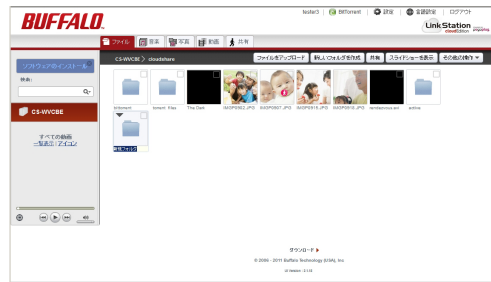
スライドショーの作成手順

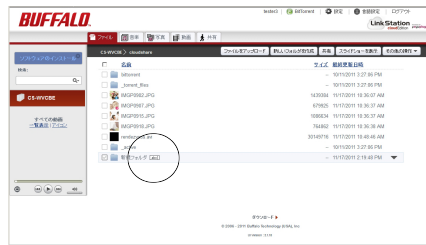
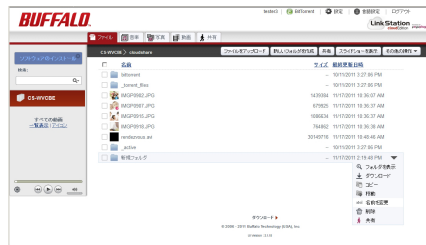
1. ［写真］タブの上部メニューにある［スライドショーの作成］をクリックします。
2. ポップアップウィンドウに新しいスライドショーの名前を入力します。
3. スライドショーに使用するフォルダーやファイルにチェックを入れます。
4. スライドショー中に再生する音楽ファイルやフォルダーを選択します（任意）。
5. ［終了］をクリックします。

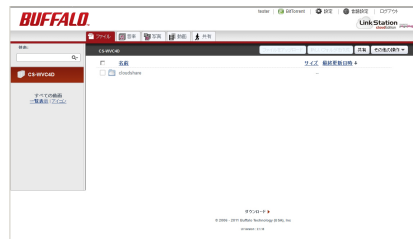
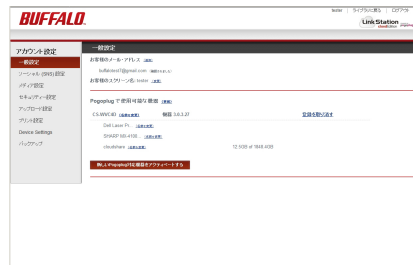
新規フォルダーの作成

ページ左側のナビゲーションバーで、新しいフォルダーを作成するデバイスを選択します。

［名前］の下の一覧から、新しいフォルダーの作成先を選択します。

［新しいフォルダーを作成］をクリックします。

新しいフォルダーに名前を付けます。

フォルダー / ファイル名の変更

名前を変更するフォルダーやファイル名の上にマウスポインターを重ねて、右側に表示される［abc］アイコンをクリックします。フォルダーやファイルの名前を変更できます。

または、右端に表示される [▼] をクリックして［名前を変更］を選択することで、フォルダーやファイルの名前を変更できます。

デバイス名と最上位フォルダー名の変更

画面上部の［設定］をクリックします。

アカウントに登録されている Pogoplug デバイスの一覧が表示されます。それぞれのデバイス名の隣に［名前を変更］リンクがあります。そのリンクをクリックして新しい名前を入力します。新しい名前に使用可能な文字は英数字、ハイフン "-"、アンダーバー "_" で最長 15 文字です。

アクティブコピー

「アクティブコピー」機能を使用すると、フォルダーを別のフォルダーに自動でバックアップできます。本機のフォルダーをはじめ、他の Cloud Edition や Pogoplug 機器のフォルダーをバックアップ元とバックアップ先に指定できます。PC に「Pogoplug Drive」ソフトウェアをインストールすることにより、PC 上のフォルダーもアクティブコピーで指定できるようになります。

アクティブコピー機能は、[設定] の中の [バックアップ] をクリックし、[アクティブ・コピーを新しいフォルダに設定] をクリックすることで設定できます。

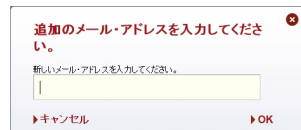
まずバックアップ元のフォルダーを選択し、次にバックアップ先のフォルダーを選択します。
選択し終えたら、［終了］をクリックします。

バックアップ元フォルダーに含まれるファイル数やデバイス間のネットワーク速度によって、アクティブコピーの完了にしばらく時間がかかる場合があります。

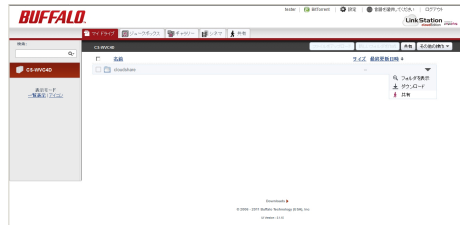
一般設定

設定画面ページで、アカウントに登録された E メールアドレスと Cloud Edition の管理が行えます。

アカウントに複数の E メールアドレスを登録することもできます。この場合、登録したどの E メールアドレスを使用してもそのアカウントのすべてのドライブや共有フォルダにアクセスできます。

アカウントに E メールアドレスを追加するには、［お客様のメール・アドレス］の隣にある［追加］をクリックします。

ソーシャル（SNS）設定

Cloud Edition に保存した写真やビデオをメッセージと共に Facebook に投稿できます。投稿するには、［ソーシャル設定］で該当するサービスにログインします。［ログイン］をクリックして表示される案内に従って進みます。

ログインすると、フォルダーやファイルをソーシャルネットワーク（SNS）の友人と共有できるようになります。フォルダーやファイルを選択し、[▼] をクリックして［共有］を選択します。

フォルダー / ファイルを共有する相手の E メールアドレスを入力します。メッセージを一緒に送る場合は、[メッセージ] 欄に入力します。SNS に投稿する場合は［その他の共有オプション］をクリックし、次の手順に進みます。投稿せずにメッセージだけ送信する場合は［終了］をクリックします。

SNS にメッセージを投稿する場合は、投稿先の SNS のチェックボックスをオンにして［終了］をクリックします。

メディア設定

Cloud Edition を使用して、XBox 360 や PlayStation®3 の ゲームコンソールやテレビなどの DLNA 対応機器に動画や写真、音楽をストリーム配信できます。PC に Flash Player がインストールされていれば Web ブラウザーで Cloud Edition 内のメディアファイルを再生することもできます。

メディア設定ページで Cloud Edition 上でのビデオの処理方法を指定できます。メディア設定ページを開き、3 つのオプションを指定することで Cloud Edition 上でのビデオ処理方法を設定できます。

[ビデオを再生用に最適化する] Web に最適な H.264 エンコード方式に変換します。

[メディアのメタ・データを作成] 音楽のジャケット写真、写真の日付を取得します。

[写真とビデオのサムネイルを作成する] プレビューを可能にします。オプションごとにオン / オフを指定できます。［変更を適用］をクリックしてオプションの設定を確定します。

ビデオのサムネイルの上にマウスポインターを重ねるとビデオをプレビューできます。メディア設定ページでチェックボックスをオフにすると、この機能を無効にできます。HTML5 ビデオ、HTML5 オーディオのチェックボックスをオンにすることで、HTML5 の機能を有効にすることができます (HTML5 に対応したブラウザが必要になります)。

セキュリティ設定

パスワード変更

［パスワードの変更］をクリックしてアカウントのパスワードを変更します。

フルセキュリティー

［フルセキュリティー・セッションを使用］の隣にあるチェックボックスをオンにすると、本機との通信で SSL（HTTPS）が常に有効になります。本設定を有効にすると､本機へのアクセス速度が低下する場合があります｡本設定が無効であっても､ログイン時は本セキュリティー機能が自動的にオンになり、パスワードやアカウントの情報が保護されます。

パスワードによる保護

［メールで共有されたものを見るにはログインを必要とする］の隣にあるチェックボックスをオンにすると、共有相手が共有フォルダーを参照する際にパスワードの入力が必要になります。共有相手が Cloud Edition にパスワードをまだ登録していない場合は、相手にパスワード登録を促すプロンプトが表示されます。

フォルダー / ファイル毎に本機能を有効にする事もできます。共有設定時に [この共有を表示するにはログインが必要です] のチェックボックスをオンにします。共有についての詳しい説明は P17 をご覧ください。

アップロード設定

upload@mycloudedition.com に送信された E メールの添付ファイルを自動的に本機にアップロードするように設定できます。

［添付ファイルのアップロード］のチェックボックスをオンにします。

添付ファイルをアップロードするフォルダを選択して、［OK］をクリックします。送信する時に使用する E メールアドレスは、Cloud Edition 登録時に使用した E メールアドレスを使用してください。

デバイス設定

[管理] をクリックするとローカル設定、[BitTorrent] をクリックすると BitTorrent 設定が開きます。

ローカル設定

ローカル設定は、外部ネットワークからデバイス設定ページを表示するか、ローカルネットワークから以下の手順を実行することでアクセスできます。

「NAS Navigator2」を使用してネットワーク上の Cloud Edition を見つけます。デフォルトでは、「CS-WV***」「CS-X***」などの名前が付けられています（「***」は Cloud Edition の MAC アドレスの下 3 桁の数字に相当します）。右クリックして［Web 設定を開く］を選択します。Cloud Edition にログインします。デフォルトパスワードは「password」です。

［**BitTorrent**］- BitTorrent を使用するには、機能を有効にしてダウンロードフォルダを選択します。デフォルトでは、BitTorrent 用のユーザー名は「admin」、パスワードは空（パスワードなし）です。

［**バックアップ**］- Time Machine を使用するには、Cloud Edition 上にバックアップ用のフォルダを作成します。このフォルダーは Windows からは見えません。Mac 上の画面から Time Machine のバックアップ先の追加と削除が行えます。Time Machine の設定については、40 ページの手順をご覧ください。

［**ダイレクトコピー**］- この項目でコピー先のフォルダを設定できます。USB 機器から Cloud Edition にデータをバックアップできます。

［**ローカルユーザー**］- この項目でローカルネットワークから Cloud Edition 上の共有フォルダーへのアクセスを有効または無効にできます。リモートアクセス用ページや Pogoplug Drive、Pogoplug Mobile を使用して本機にアクセスした場合は、この制約は適用されません。

［**フォルダー**］- 本機上のフォルダーを追加 / 削除できます。クラウド上（リモートアクセス用ページ、Pogoplug Drive、Pogoplug Mobile 使用時）で公開するフォルダーや、Cloud Edition と同じサブネット内（Samba、AFP 使用時）からのアクセスに限定して公開するフォルダを設定できます。

［**デバイス名**］- この項目で本機のデバイス名を変更できます。デバイス名に使用可能な文字は英数字、ハイフン "-"、アンダーバー "_" で、最長 15 文字です。

［**パスワード**］- これはローカル設定用ページのログインパスワードです。リモートアクセス用ページのアカウントとは別のものです。本機（Cloud Edition）用のログインパスワードを変更するには、この項目で新しいパスワードを 2 回入力して［保存］をクリックします。デフォルトパスワードは「password」です。

［**日付 / 時刻**］- 本機の日付と時刻は手動または自動で設定できます。手動で設定する場合、タイムゾーン、日付、時刻を入力します。PC から時刻を取得するには［ローカル時刻を使用］をクリックします。設定を終えたら［保存］をクリックします。

［**ネットワーク**］- 本機の IP アドレスは手動または自動で設定できます。一般的には自動設定（DHCP 使用）が推奨されます。［手動］を選択した場合、ネットワーク設定を適切に設定して［保存］をクリックします。ローカルネットワーク内から本機に接続した場合（上述）のみ、この項目を変更できます。(注意：誤ったネットワーク設定を行いますと、クラウドからアクセスできなくなる可能性があります。)

［**ストレージ**］- この項目で本機のハードディスク構成を再設定できます。 RAID の構築、削除は本項目で行うことができます。

［**通知**］-［E メール通知］を有効にすると、本機でエラーが生じた場合に E メールが指定アドレスに自動で送信されます。［追加］をクリックして、通知の送信先 E メールアドレスを入力します。通知するイベント（ハードディスク状況、ファンのエラー、ディスクエラー）を選択します。［テストメッセージを送信］をクリックすると指定したアドレスにサンプル E メールが送信されます。［保存］で変更内容を保存して終了します。注記：通知 E メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダを確認してください。

［**スリープスケジュール**］- この項目を設定することで、スリープ時間及び起動時間のスケジュールを行うことができます。

［**メンテナンス**］ - ［復元］をクリックすると本機が工場出荷時の設定に戻ります。この作業を行っても本機ハードディスク内のデータが消えることはありません。一方、［データの消去］のチェックボックスをオンにしてから［復元］をクリックすることで、ハードディスク内のデータをすべて削除することもできます。この作業でデバイスの登録が解除されることはありません。データの削除を選択した場合、完了までに数時間かかる場合があります。

［メディアライブラリの再構築］をクリックすると、ビデオや動画のサムネイル再作成と再トランスコードが行われます。Cloud Edition 上のフォルダがアクティブコピー のコピー先 / 元になっている場合、アクティブコピー を再実行する必要があります。この操作は中断、復元ができません。

注記：［復元］および［メディアライブラリの再構築］は、本機と同一のネットワークに接続しているときに実行できます。

［**アップデート**］ - 有効にすると、本機のファームウェアが自動的に最新の状態に更新されます。この設定はデフォルトで有効になっています。更新結果が正しく表示されない場合は、Web ブラウザーのキャッシュを消去してください。

［**ステータス**］ - 本機のシステム設定内容とネットワーク情報を表示します。

［**言語**］ - ページ右上にあるドロップダウンメニューで言語を変更できます。注記：これは本機のローカル設定用ページの言語を変更するための設定です。リモートアクセス用ページの言語を変更する場合は、［ライブラリに戻る］をクリックし、右上の言語タブをクリックします。

［**再起動**］ - 本機を再起動します。ページ上部バーの右側にあるボタンを使用します。

[**シャットダウン**] - 本機をシャットダウンします。CS-X では、ウインドウ上部バーの右側にあるボタンからシャットダウンを選択することで終了します。また、CS-WV では、本機背面にあるスイッチを OFF にすることで終了します。ウインドウ上部バーの右側にあるボタンからシャットダウンを選択すると、CS-WV が再起動することがあります。

RAID

CS-WV は、2 台の内蔵ハードディスクを搭載し、デフォルトでは、通常モードに設定されています。RAID の設定を変更するには、本機の電源を ON にし、ローカル設定用ページ「http://x.x.x.x/」(x.x.x.x. は本機の IP アドレス)を開き、[ストレージ] をクリックします。[ディスク設定の変更] をクリックし、[通常モード] または [RAID1] を選択します。

通常モードに設定すると、2 台のハードディスクを独立に使用できます。また、RAID1 に設定すると、ハードディスクが二重化されます。

注記：2 台のハードディスクの位置を入れ替えると予期しない現象が発生します。絶対に入れ替えないでください。

RAID1 で構成されている状態で障害が発生した場合、ハードディスクを交換することができます。障害が発生したハードディスクを交換する際には、ローカル設定用ページ「http://x.x.x.x/」(x.x.x.x は本機の IP アドレス)を開くことで、どちらのハードディスクに障害があるかを確認できます。本機の電源を切り、障害がある方のハードディスクを交換し、本機の電源を再投入してシステムが起動するまでお待ちください。ローカル設定用ページのストレージを開き、[ドライブ交換したら、ここをクリック] をクリックすることで、RAID1 が再構築されます。

障害のないハードディスクを取り外す場合、そのハードディスクを通常モードに切り替えます。ローカル設定用ページで、そのハードディスクを選択して [ディスクの取り外し] をクリックします。本機の電源を切り、ハードディスクを取り出します。

通常モードでは、それぞれのハードディスクは独立しています。通常格納されるデータもそれぞれに異なります。両方のハードディスクの全容量が使用できますが、冗長性はありません。ハードディスクに障害が発生した場合、そのハードディスク内のデータはすべて失われます。

RAID1 では、二重化によりハードディスクに障害が起きても動作を継続できる反面、記憶容量が減少します。両方のハードディスクに同時に同じデータが格納されます。一方のハードディスクに障害が発生した場合、正常な方のハードディスクが動作を継続し、データのアクセスが中断されることはありません。障害のあるハードディスクを交換して仮想ディスクを再構築すると、両方のハードディスクは元の動作状態に戻ります。

通常モードから RAID1 に変更する場合、次の 3 つの選択肢があります。

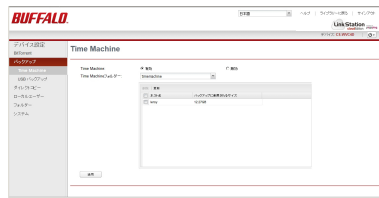
［ディスク 1 のデータを保持］（筐体内の左側のハードディスク）

［ディスク 2 のデータを保持］（筐体内の右側のハードディスク）

［データを保持しない］

注記：容量が異なる 2 台のハードディスクを利用している場合、容量が多い方のハードディスクのデータを保持して RAID1 を構築することはできません。

RAID1 から通常モードに変更する場合、すべてのデータが失われます。 ハードディスクの構成が変更した際に、構築処理が完了するまで INFO/ERROR ランプが橙色に点滅します。

Time Machine

Time Machine を実行している Mac のバックアップ先として本機を利用する場合、ローカル設定用ページで[デバイス設定]-[バックアップ]を開き、[有効]を選択してから[適用]をクリックします。

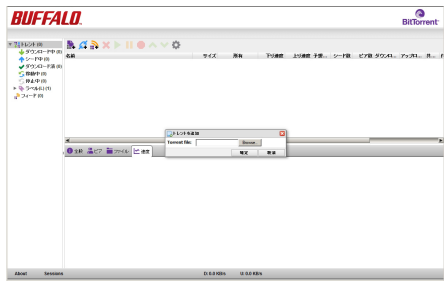
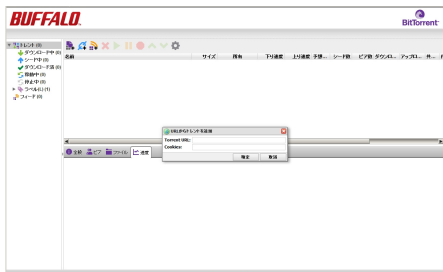
Mac 上で Time Machine を開き、[バックアップディスクを選択]をクリックします。

リストから本機を選択し、[バックアップに使用]をクリックします。120 秒後、Time Machine によってバックアップが開始されます。

BitTorrent クライアント

Cloud Edition に内蔵された BitTorrent クライアントを利用してファイルをダウンロードできます。機能を有効にするには、[有効]を選択してから[適用]をクリックします。

次に、[ダウンロードマネージャを開く]をクリックします。

BitTorrent 用のユーザー名とパスワードを入力します。これは本機(Cloud Edition)用のユーザー名とパスワードとは別のものです。BitTorrent 用のデフォルトユーザ名は「admin」、デフォルトパスワードは空(パスワードなし)です。

torrent ファイルを追加するには、左上にあるひとつ目のアイコン(紫色)をクリックします。[Torrent を追加]ダイアログボックスが表示されます。[参照]をクリックして、torrent ファイルの場所までたどって開きます。[OK]をクリックします。

また、2 つめのアイコン(青色)をクリックして、[Torrent URL]入力欄に torrent ファイルの URL を入力する方法もあります。[OK]をクリックします。

ファイルはバックグラウンドで自動的にダウンロードされます。

ダイレクトコピー

デジタルカメラや USB メモリー、外付けハードディスクなど、USB で接続した機器から Cloud Edition（CS-WV）本体に直接データをコピーできます。

USB 機器を本機背面の USB ポートに繋ぎます。本機前面のファンクションランプが 60 秒間青色に点灯します。

ファンクションランプが青色点灯している間に、ファンクションボタンを押してすぐに離してください。ファンクションランプが点滅を始め、USB 機器内のすべてのメディアファイルが［デバイス設定］-［ダイレクトコピー］で設定した Cloud Edition 内のフォルダにコピーされます。コピーが完了すると、ファンクションランプの点滅が止まります。

コピーが完了したら、ファンクションランプが青色に点灯するまでファンクションボタンを押し続けます。これにより接続されているすべての USB 機器が切断され、安全に取り外せるようになります。"USB 機器を取り外した後すぐに USB 機器を接続した場合、USB 機器が認識されない場合があります。正しく認識されなかった場合、しばらく経ってから再接続してください。

注記：Cloud Edition CS-X モデルはダイレクトコピーに対応していません。

USB 機器を接続したときにファンクションランプが青色点灯しない場合は、その USB 機器はダイレクトコピーと互換性がありません。

［デバイス設定］［ダイレクトコピー］の設定でフォルダが指定されていない場合ファイルは何もコピーされずにファンクションランプが点滅を続けます。この場合は、ファンクションボタンを押し続けて接続された機器を切断してください。

ダイレクトコピーでは、次の種類のファイルがコピーされます。

写真

*.jpg *.jpeg *.gif *.png *.tif *.tiff *.yuv *.bmp *.raw

動画

*.avi *.divx *.asf *.mpg *.mpe *.m1v *.vob *.mts *.m2ts *.m2t *.mpeg *.mpeg2 *.vdr *.spts *.tp *.ts *.3gp *.mov *.m4v *.wmv *.dvr-ms *.xvid *.mp4 *.m4v

音楽

*.mp3 *.mpa *.wma *.aac *.apl *.ac3 *.lpcm *.pcm *.wav *.m3u *.m4a *.m4b *.aif *.aiff *.flac *.ogg *.mp2 *.mp1

INFO/ERROR ランプが赤色点滅したら

本機の動作中にエラーが発生した場合、INFO/ERROR ランプが赤色に点滅します。1 秒おきの点滅（10 の位）と 0.5 秒おきの点滅（1 の位）が繰り返されます。長い点滅の回数と短い点滅の回数を組み合わせることで以下のような 2 桁のエラーコードが得られます。

E00 - （点滅せず）MPU 障害
E01 - DRAM データライン不正
E02 - DRAM アドレスライン不正
E03 - RTC チップエラー
E04 - カーネル展開に失敗
E06 - ファームウェアの破損
E07 - 1 つのハードディスクが検出されない
E10 - UPS エラー
E11 - ファンのエラー
E15 - ハードディスクの I/O エラー
E16 - ハードディスクがひとつも検出されない
E17 - 内部コントローラーのエラー

E20 - マザーボードのエラー
E21 - 内部コントローラーのエラー
E22 - マウントエラー
E23 - ハードディスク動作不良

INFO/ERROR ランプが橙色点滅したら

INFO/ERROR ランプは情報を示す場合に橙色に点滅します。エラーコードと同様に、1 秒おきの点滅(10 の位)と 0.5 秒おきの点滅(1 の位)が繰り返されます。長い点滅の回数と短い点滅の回数を組み合わせることで以下のような 2 桁の情報コードが得られます。

I19 - ディスクを消去中
I23 - システムを初期化中
I25 - ファームウェアを更新中
I26 - Web 設定を初期化中
I27 - USB ディスクをチェック中
I28 - USB ディスクをフォーマット中
I53 - クラウドサービスと通信不可

ハードディスク:	3.5 インチ SATA
有線 LAN:	10/100/1000 Mbps RJ-45
USB ポート:	USB 2.0/1.1 (CS-WV のみ)
交換用ファン:	OP-FAN/LSW
交換用電源:	OP-AC12L
電源:	100 ~ 240V 50/60Hz
対応 OS:	Windows® 7 (32-bit/64-bit)、Windows Vista® (32-bit/64-bit)、Windows XP、Windows Server® 2003/2008、Windows Server® 2003/2008 R2、Mac OS® X 10.4 以降
消費電力	~ 48W(最大)
外形寸法:	W86xH127xD207mm
質量:	約 2.3 kg
動作環境:	温度 5 ~ 35℃、湿度 20 ~ 80%(結露なきこと)

仕様（CS-X）

ハードディスク：	3.5 インチ SATA
有線 LAN：	10/100/1000 Mbps RJ-45
交換用電源：	OP-AC12
電源：	100 ～ 240V 50/60Hz
対応 OS：	Windows® 7（32-bit/64-bit）、Windows Vista®（32-bit/64-bit）、Windows XP、Windows Server® 2003/2008、Windows Server® 2003/2008 R2、Mac OS® X 10.4 以降
消費電力	～ 18W（最大）
外形寸法：	W45xH175xD150mm
質量：	約 1.1 kg
動作環境：	温度 5 ～ 35℃、湿度 20 ～ 80%（結露なきこと）

ホームページ　86886.jp　（http://www　不要）

サポートセンター

個人のお客様窓口
Eメール　86886.jp/mail/　（http://www　不要）
電話　050-3163-1825　（または、052-619-1825）
9:30 ～19:00
年末年始、法定点検日を除く

法人のお客様窓口
Eメール　86886.jp/hojin/　（http://www　不要）
電話　050-3163-2000　（または、052-619-2000）
9:30 ～12:00　13:00 ～17:00
土日祝日、夏季休暇、年末年始、法定点検日を除く

修理のお申込み 86886.jp/shuri/　（http://www　不要）

GPLライセンスについて

Buffalo 製品のソースコードはこちらより入手できます：http://opensource.buffalo.jp

Mac および Mac OS は、Apple Inc. の商標であり、米国や他の国々で登録されています。

Windows は、米国や他の国々における Microsoft Corporation の登録商標です。

PlayStation、PLAYSTATION および PSP は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。本製品は当社のオリジナル商品であり、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのライセンス商品ではありません。当社独自の動作検証に基づくものです。

Xbox、Xbox 360 のロゴおよびその他の Microsoft 製品は米国 Microsoft Corporation またはその他の国における登録商標または商標です。

「Android」および「Android マーケット」は、Google Inc. の商標または登録商標です。

Twitter は、Twitter,Inc. の商標または登録商標です。

Adobe、Flash および Flash Player は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

BUFFALO ™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。LinkStation ™は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では™ ,®,© などのマークは記載していません。